

◆「LRRI メルマガ」令和7年（2025年）11月号◆

★ホームページの表紙の写真を更新します

遅くなりましたが、ホームページの写真を更新します。ご確認下さい。



(写真是 DIGITAL PHOTO SERVICE 社さまから購入)

★協力会員・伊藤大知さまが受賞されました

協力会員・伊藤大知さま（茨城大学）が大成学術財団選奨・金賞を受賞されました。演題（研究課題）は下記の通りです。

「各種ベントナイト系材料の透水特性データベース構築および理論的評価方法の高度化」

詳細は以下をご参照ください。

<https://www.taisei-foundation.or.jp/event/251017.html>

★関連技術のご紹介です

安原代表理事が会長を務めているEPS機構（EDO）の技術が国立環境研究所のA-PLATに掲載されました。内容は以下をご参照ください。

「EDO-EPS（発泡スチロール）工法を用いた港湾施設における浸水リスクの低減」

https://adaptation-platform.nies.go.jp/private_sector/opportunities/biz-177.html

★茨城大学からの受託業務を進めています

茨城大学地球・地域環境共創機構（GLEC）から、『自然災害・沿岸域』分野の気候変動適応策オプションの分類、費用、効果に関する調査委託業務』を受注し、取り組みを進めています。本業務は、「環境研究総合推進費S-24：気候変動適応の社会実装に向けた総合的研究」

(https://www.erca.go.jp/suishinhi/koubo/pdf/koubo_r07_04.pdf, 研究代表者：国立環境研究所

気候変動適応センター センター長：肱岡靖明）の一環です。また、本業務で利用します“気候変動適応策データベース”（<https://adaptation-platform.nies.go.jp/external/s-18/publications/publications-briefs/index.html>）は、平成4年度に茨城大学から受託しました『気候変動適応策オプションの分類に関する調査委託業務』における成果品の一部の「適応オプション一覧表」を基礎として完成されたものです。

なお、本件にご協力やご助言をいただける方は、事務局（staff@lirri.ne.jp）または代表理事（kazuya.yasuhara.0927@vc.ibaraki.ac.jp）迄ご一報ください。

★「役員&会員だより」令和7年11月号をお届けしました

本号のタイトルは、伴副代表理事兼事務局長による「混迷を極める日本 若者たちの将来は…？」です。本編はHPにも掲載していますので、ご一読のうえ、ご参考ください。なお、引き続き会員の皆様のご投稿をお待ちしております。ご希望の方は、事務局（staff@lirri.or.jp）までお気軽にご一報ください。

★「土木技術資料」（令和7年11月号, Vo.69, No. 11）が届いています

（一財）土木研究センターさまからのご案内です。以下のURLから抄録がご覧になります。

<https://www.pwrc.or.jp/wnew2511.html#mokuji>

★茨城大学小林 薫教授の最終講義のお知らせです

協力会員・茨城大学小林薰教授が令和8年3月をもって退職されます。それに先立って、伊藤大知講師（協力会員）を中心に準備委員会が設置され、準備中です。現段階での最終講義の情報は以下の通りです。

◆最終講義

- ・開催日時：令和8年2月27日(金) 15:00～16:30
 - ・場所：茨城大学工学部E1棟10番教室（JX金属ホール）
- ##### ◆懇親会
- ・場所：ホテルテラスザスクエア日立 宴会場
 - ・時間：18:00～20:00